

発行:中の島地区町内会連合会
発行日:平成 20年 6月 18日

中の島通りも各町内会等で植花したペチュニアなどが根付き、通りを飾っています。さて今回は、精進川にまつわる話題が満載となりました。記事にも掲載したあそびの日では、三区第2の中邑さんが「精進川の滝」そばにあるめずらしい三樹の木について紹介されました。皆さんも近くに行ったときは、是非ごらんください。

土木学会デザイン賞 優 秀 賞



今回の受賞は、川底と岸の三面を覆っていたコンクリートを取り除き住宅地の中で自然に親しめる川として再生したことが高く評価されたもので、優秀賞は国内で7ヶ所しか選ばれておりません。なお、最優秀賞は3ヶ所でそのうち1ヶ所は東区のEIL沼公園が受賞しています。



近年は、例年実施しているヤマベがサクラマスとして遡上する姿や「トビヨ」が生息しているという話など、都心の中でこれだけ自然と共存する精進川を大切にしていきたいですね。

ヤマベの稚魚放流



5月24日、魅力づくりの会と青少年育成委員会の主催により、精進川の滝付近で地域の子供達や親子連れなど大勢の人が参加して、ヤマベの稚魚放流が行なわれました。



今回で放流した稚魚は3000匹。子ども達は簡易プールの中にあるヤマベをコップにすくい川沿いに移動し「行ってらっしゃい」「無事に戻ってきてね」など声をかけながら川に放していました。



“ごみゼロの日”街頭啓発

豊平区クワンサっぽろ衛生推進協議会が例年5月30日を「ごみゼロの日」と題し、環境美化を目的として実施しています。中の島でも30日地下鉄中の島駅交差点付近でキャンペーンを行いました。このキャンペーンは、洞爺湖サミットを機会に札幌市を訪れる多くの方をきれいな街で迎えるため、清掃活動や花植えなど各地域と札幌市が連携して取り組んでします。



この日は、約40名が参加してごみのポイ捨てやごみ減量・ごみ出しマナーの向上をPRする為ポットティッシュやごみ袋を歩行者に配布しました。みなさんも綺麗な街づくりに協力しましょう！



食生活改善推進員伝達料理



5月13日中の島地区の食生活改善協議会と地区連女性部合同の料理講習会がありました。野菜たっぷりの4品の料理をベテラン主婦の皆さんが日頃の包丁さばきを発揮しあっという間に仕上げ皆さんで美味しく舌づつみを打っていました。



あいあいすこやかサロン



去る5月29日、中の島会館であいあいすこやかサロンがありました。これは、中の島地区に住む65歳以上の方を対象としたサロンです。今回はなんと大胆にも、白玉だんごを練り上げて「あんみつ」に挑戦という企画でしたが、指導よろしきを得て、見事な出来ばえに参加者一同喚声を上げ、自画自賛しながらほおばっていました。

7月のサロンは、中の島会館(7/29)映画「ニッポン無責任時代」、三区会館(7/30)「元氣ハツラツ体操」の予定です。お誘い合わせの上おいで下さい!



あそびの日



6月7日、精進河畔公園にてNPO法人こども共育センター(中の島1-9)主催の「元氣ワクワ遊ぼう2008 in 中の島」が開催されました。

当日の会場は小雨が混じるあいにくの天候にもかかわらず、約150人の地域の方や子供達や親子連れなどが参加して、昔遊びや誰でも気軽に遊べるコーストを楽しみました。また、精進川や植物などに詳しい中邑さんをガイドに精進川探検も行い、参加者の中からは「精進川の歴史についてよくわかった」「いろんな植物を知ることができた」など、多くの学びを得ることができました。



～精進川の名前の由来～

精進川はアイヌ語で「オソウシ」(川尻に滝がついているもの)とよばれ、200年ほど前の地図には、「オシヨシ川」と書かれています。それが「お精進川」となまり、精進川となったのです。また、川の水がとてもきれいに澄んでいることで、そういったともいわれています。

郷土誌 なかのしまから抜粋(中の島小学校発行)